

令和5年度 朝日小学校スクールプラン

教育目標

あかるい子
あたたかい子
あくまでがんばる子

「あかるい子 あたたかい子 あくまでがんばる子」の育成

ポジティブで明るい「心」と「ことばの力」の育成
多様性を認め、あたたかくつながり合う力の育成
主体的・協働的・創造的にたくましく伸びゆく力の育成

【保護者・教師の願い】

- ・学ぶ喜びを感じ、自分の考えを表現できる子
- ・明るく健康で、心身ともにたくましい子
- ・地域のよさを知り、ふるさとを誇りに思う心を持つ子

【児童の実態】

- ・明るく素直で、集団で協力することのよさを知っている。
- ・自分の思いを言葉で表現する力が弱い。
- ・困難に直面したとき、突破しようとする気持ちがやや薄い。

中期重点目標(育成する力)	具体的方策	数値指標(本年度目標)
【未来を拓く学力】 主体的・協働的・創造的に課題を解決する力 確かな知識と技能 豊かな思考力と表現力	・「単元構想」「魅力ある学習課題」を基に粘り強く取り組み、「学びのふりかえり」を通して自らの学習を調整できるようにする。 ・「目的、方法、見方・考え方を明確にした対話」「効果的なICTの活用」により、自己の考えを広げ深める対話的な学びを充実させる。 ・「繰り返し学習」を工夫し、基礎的基本的な学習内容の定着を図る。 ・図書環境を整え、月一回の「読書の日」を設けることで、いつでも読書に親しめるようにする。	○粘り強く学習に取り組んだ。 80%(とても 60%) ○対話で学びを深めた。 80%(とても 60%) ○読書が好き。 90%(とても 50%) ◇国語・算数の単元末テスト 80点以上の児童75%以上
【幸せな社会を創る力】 多様性を認め あたたかくつながり合う力 主体的に 学級・学校づくりに関わる力	・ポジティブ教育(ソーシャルスキル・ピアサポート・レジリエンス)に重点的に取り組む機会を設ける。学校行事・ポジティブ週間・人権週間では、自他の良さを認め大切に活動する活動を充実させる。 ・中・高学年が「わくわくタイム」を主体的に企画・運営する機会を設け、学年の枠を越えた活動を充実させる。 ・委員会活動などを通じ、児童の多様なアイデアを積極的に取り上げ実践していくなど、児童が学校運営に関わるように支援する。	○自分にはよいところがある。 95%(とても 60%) ○仲間にはよいところがある。 95%(とても 70%) ○みんなで何かをするのは楽しい。 95%(とても 70%) ○進んで活動することができた。 95%(とても 70%) ○心を伝えるあいさつができた。 80%(とても 60%)
【健やかな心身】 心と体の健康を考えて 生活する力	・メディアの心身への影響について知る機会を設け、家庭と連携し、メディアとの付き合い方について考えられるようにする。 ・全校の児童が、正しい姿勢を意識し保持できるよう、意識を高める活動と体の力を高める活動の両面から取り組む。	□お子さんとメディアとの付き合い方について話し合った。(保護者) 80%(とても 20%) ○正しい姿勢を意識できた。 90%(とても 50%)
【家庭・地域との連携】 【健全な働き方】 「業務改善」と 「教育の質の向上」の 一体化	・ふるさと学習で探究力と地域への愛着を高める。 ・校務部会、学年部会、校内研修では、協働的・創造的に、授業その他の教育活動の質を高めていく。 ・業務改善と教育の質の向上を一体的に進める。 <取組>主体性を育む指導(手をかけすぎない) 日課表やカリキュラムの改善 ICTの可能性を創出 チーム対応 議論に焦点化したペーパーレス会議 家庭地域との連携 タイムマネジメント力の向上	☆協働的・創造的に教育活動を進めた。(教職員) 90%(とても 50%) ☆業務改善と教育の質の向上を一体的に進めた。(教職員) 90%(とても 40%) ☆超過勤務45時間未満を達成、または近づいた。100%